

被災地視察報告について

1 目的 被災地（地震、津波、原発事故）の視察を通して、災害についての理解を深め、防災に対する意識を高める機会とする。

2 これまでの取組み



平成 26 年度（7 月 29 日）

視察場所

- ・宮城県立名取支援学校
- ・名取市閑上地区、閑上中学校

視察内容

- ・東日本大震災の被害状況，防災教育の取組みなどの情報交換
- ・被災地の見学，津波復興祈念資料館見学



平成 27 年度（7 月 23・24 日）

視察場所

- ・宮城県石巻市
- ・福島県南相馬市市街地

視察内容

- ・語り部ツアー，震災・津波の伝承館
- ・バス車窓からの見学



平成 28 年度（7 月 23 日）

視察場所

- ・宮城県亶理郡亶理町
- ・福島県南相馬市

視察内容

- ・語り部ツアー，被災地の見学



3 職員の感想

- 情報はテレビ等で知っていたが、実際に被災地を訪れてみると、被害の大きさに驚いた。日頃から防災意識を持つこと，訓練を重ねること，備えを忘れずに行くことが大切である。
- 語り部さんから当時の状況を聞くことや教訓を聞くことはとても為になった。それをもとに実際に起きたことを語り継ぐこと，教訓を生かすこと，忘れないことが大切だと感じた。
- 命を守る術を教員も身につけるとともに，子どもたち自身にもつけていくことが大切である。防災教育の大切さを改めて感じた。
- 放射線量の掲示板の数値が少しであるが下がっていたことや除染作業員がいる範囲が増えたことなど数年前とは違った変化が出てきてはいるが，依然として空き家が目立ち，除染廃棄物置き場が増え続けているところを見ると，復興へはまだほど遠いことを感じさせられた。



ヘルメットきんちゃん